



地域日本語支援ニュース こだま 第 234 号

2013.5.23



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

===== 目次 =====

1 ■日本語教育メール相談から—23■

日本語能力試験の学習方法について

2 ■進学進路ガイダンス情報（6月7月）■

3 ■AJALT からのお知らせ■

雑誌『AJALT』36号 目次

=====

1 ■日本語教育メール相談から—23■

日本語能力試験の学習方法について

-----  
AJALT では、各地域において在住外国人にたいする日本語支援を行っている方々からの日本語支援に関するご相談をメールで受け付けています。教室運営や対象別指導法、日本語文法など、皆様の日々の活動における疑問に、AJALT のベテラン教師が丁寧にお答えいたします。今回は、最近頂いたご相談の中から、下記のご相談と回答をご紹介します。皆様もどうぞ、お気軽にメール相談をご利用下さい。  
☆☆☆☆☆☆☆☆

<ご相談内容>

スリランカの成人の方が日本語能力試験3級受験希望です。同じ希望のミャンマーの方からも相談を受けています。どのような勉強をすればいいとアドバイスしたらいいか、教えて下さい。

<回答>

◆日本語能力試験のレベル◆

3 級を受験するというのですが、これは現在の N3 レベルのことでしょうか。2010 年から新しい日本語能力試験になり、以下のようにレベルの名称が変わりましたので、ご参考までに記します。

旧試験レベル	新試験レベル	学習時間目安	漢字数／語彙数	備考
1 級	N1	900 時間	2,000／10,000	上級
2 級	N2	600 時間	1,000／6,000	中上級
	N3 (新設)	450 時間	650／3,500	旧 3 級と 2 級の間
3 級	N4	300 時間	300／1,500	初級終了程度
4 級	N5	150 時間	100／800	初級前半終了程度

\* 日本語能力試験の実施日

第 1 回 2013 年 7 月 7 日(日) 実施レベル N1～N5

(申込受付 5 月 1 日終了)

第 2 回 2013 年 12 月 1 日(日) 実施レベル N1～N5

申込期間： 2013 年 9 月 2 日(月)～2013 年 10 月 2 日(水)

申し込み方法：インターネットまたは郵送

詳しくは下記ホームページをご参照ください。

<https://info.jees-jlpt.jp/>

日本語能力試験対策の学習は以下のような方法があげられます。

◆まずは受けるべきレベルを決める◆

○PC が使える方ならぜひ「JLPT 日本語能力試験」のホームページを活用ください。ここでは 各レベルの合格の目安、自分のレベルはどのぐらいかをチェックしたりできます。

レベルチェックの方法⇒「問題例」のページから、各レベルのサンプル問題が見られます。自分の実力をチェックでき、受けるべきレベルがわかります。

模試が見られます⇒同じく「問題例」のページから「日本語能力試験公式問題集」(各レベル)がダウンロードでき、聴解試験の音声も聞くことができます。

○大きい書店に行くと、各級の練習問題集を売っています。受験級が既に決まっている場合はその級の問題集／模試テキストを買って勉強すると良いでし

よう。

テキストは大ざっぱに分けると、科目別のドリル、すべての科目が入った練習問題集、予想問題集（模試）の3つがあります。

○受けるレベルに迷った場合は、N4 レベルの問題（初級終了程度）で力試しをするとよいと思います。N4 レベルができていない場合は初級の事項から復習が必要です。

#### ◆各科目の学習を進める⇒最後に「模試」で仕上げ◆

レベルが決まったら「語彙」「漢字」「文法」「読解」「聴解」と科目別に学習を進めます。全ての科目の問題集を買い揃えるのは大変だと思いますので、まずは習得に時間がかかる科目、自分が苦手な科目について、科目別の問題集を買って先に学習を始めると良いと思います。最後に試験の1, 2 月前に実際の試験の模試が入った問題集で仕上げです。聴解についてはある程度日常生活で日本語に慣れている人なら、直前に模試の本で練習しても間に合います。

#### ◆「文法」は支援者と◆

習得に時間がかかる「語彙」「漢字」「文法」を先に始める方が多いようです。「語彙」「漢字」はテキストの種類が多いので書店で自分の学習スタイルに合ったものを選べますし、ある程度独学もできます。「文法」に関しては独学が難しいので、支援者と一緒に学習するのが良いと思います。「読解」は「語彙」「漢字」「文法」の学習の進み具合を見て、始めるとよいでしょう。実際の試験では少ない時間の中でたくさんの文章を読むことが求められますので、能力試験の問題に関わらず、日頃から日本の雑誌やフリーペーパーなど、何でも身の回りにある読み物を読むことを習慣づけるだけでもだいぶ違ってきます。また「読解」は解き方のテクニックも求められますので、色々な問題にあたっておくことも必要です。

いずれにしても能力試験の勉強は基本的には学習者自身の自習、日々の学習の積み重ねが合格に結びつきます。支援者の方には「わからないところを聞く」というスタンスで進めると良いと思います。

また、インターネット上には、日本語能力試験の文法、語彙、漢字などを自習出来るサイトがあります。自分の弱い分野を強化できそうで、使いやすいようなページをみつけて活用してみるのもよいでしょう。

(AJALT 所属日本語教師 山本さやか)

---